



2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社安江工務店 上場取引所 東・名
 コード番号 1439 URL <https://www.yasue.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 賢治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役執行役員 (氏名) 印田 昭彦 (TEL) 052-223-1100
 四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第3四半期の連結業績 (2023年1月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	5,323	10.2	213	467.8	212	369.2	124	—
2022年12月期第3四半期	4,830	0.9	37	△55.1	45	△45.9	11	△59.8

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 125百万円 (—%) 2022年12月期第3四半期 11百万円 (△59.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	94.10	88.29
2022年12月期第3四半期	8.58	8.22

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,468	1,749	37.3
2022年12月期	4,243	1,627	37.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,668百万円 2022年12月期 1,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2023年12月期の連結業績予想 (2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,436	5.5	302	33.6	301	29.8	169	25.6	128.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	1,350,760株	2022年12月期	1,340,060株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	28,584株	2022年12月期	28,584株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	1,319,980株	2022年12月期3Q	1,302,884株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が薄れて経済活動の正常化が進むとともに、雇用情勢にも改善の動きが見られるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、円安の進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化に伴う資源価格の高騰、中東情勢の悪化懸念など、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、こどもエコすまい支援事業等の政府による後押しがあるものの、資源価格の高騰を受けた木材・住宅設備機器等の値上げによる消費マインドの低下、設計職・施工監理職など専門職技術者の人材不足など、依然として厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社グループは「すべてのお客様に安らぐ『住まい』を提供し、一生のおつきあいをする」ことをミッションに掲げ、お客様にとって価値あるサービスが提供できるよう、住宅に関するニーズにワンストップで応え、すべての相談に乗ることができる利便性の高い体制の構築に努めてまいりました。

また、2021年2月に策定した中期経営計画の3つの基本方針「競争力強化」「成長拡大戦略」「環境変化への対応力強化」に基づき、2030年に売上高300億円達成を目標とする長期ビジョン「Vision 2030 forward 300」の実現に向けて、グループブランド「r-cove* (アール・コーブ)」の強化・浸透を図り、グループ内のシナジーを最大限に発揮してグループ全体で収益拡大に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、新築住宅事業において木材・住宅設備機器の価格高騰の影響を受けるなど、消費マインドの低下から受注が低調となったものの、主力の住宅リフォーム事業において外壁塗装などの住まいのメンテナンス需要やキッチン・浴室などの水回り機器の入れ替え需要が堅調に推移しました。また、不動産流通事業において保有物件の売却が予定通り進捗したことから、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は5,323百万円（前年同期比10.2%増）、営業利益は213百万円（前年同期比467.8%増）、経常利益は212百万円（前年同期比369.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は124百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益11百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

(住宅リフォーム事業)

住宅リフォーム事業におきましては、建築士などの資格を有するデザイナーによる機能性・デザイン性の高いリフォームを提供するとともに、屋根・外壁塗装等の外装や玄関アプローチ・カーポート等のエクステリアに特化した専門部署において、専門性の高いノウハウを活かした提案を行うなど、安定的な営業活動を展開してまいりました。加えて、当社リフォーム店舗に併設している子会社のインテリア販売拠点を活用し、住宅リフォームに家具やカーテンをセットでコーディネートするなど、グループ内のシナジーを活かしてお客様満足度の向上に努めてまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、住まいのメンテナンス需要が堅調であったことに加え、テレビCM・YouTubeなどのSNSを活用した効果的な広告宣伝戦略や、政府による各種補助金事業の後押しもあったことから引き合い件数が増加しました。その結果、売上高は4,375百万円（前年同期比12.1%増）となり、セグメント利益は203百万円（前年同期比324.2%増）となりました。

(新築住宅事業)

新築住宅事業におきましては、オリジナル建材である「無添加厚塗りしっくい®」や、無垢の木材、薩摩中霧島壁などの自然素材を活かし、デザイン性や機能性を高めた4つの注文住宅ラインナップを揃えており、お客様のニーズに合わせた提案を行うとともに他社との差別化に注力してまいりました。また、打合せや完成見学会・構造見学会においてオンラインの活用を促進するなど、営業活動の効率化にも取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、木材・住宅設備機器等の値上げに伴う消費マインドの低下が続いており、前期からの繰越受注棟数の減少により引渡棟数も減少したことから、売上高は294百万円（前年同期比35.5%減）となり、セグメント損失は55百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

(不動産流通事業)

不動産流通事業におきましては、地域密着型の強みを活かして良質な小規模分譲地の仕入れに注力し、自社での新築注文住宅や新築分譲住宅用地として活用するなど、事業間のシナジーを発揮してまいりました。また、買取再販物件に当社グループの強みであるリノベーション・デザインリフォームをコーディネートしてお客様に提案するなど、資産価値の創造・魅力ある住まいづくりを積極的に推進してまいりました。

当第3四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、2023年5月に販売を開始した中規模分譲宅地の販売が堅調で買取再販物件の取扱数が増加したことに加え、不動産仲介時に提案するリフォーム工事の受注が好調であったことから、売上高は653百万円（前年同期比38.5%増）、セグメント利益は65百万円（前年同期比401.9%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は3,121百万円となり、前連結会計年度末に比べ262百万円増加いたしました。これは主に現金預金が23百万円、売上債権が16百万円、未成工事支出金等が162百万円、販売用不動産が72百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は1,347百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円減少いたしました。これは主に土地が9百万円、繰延税金資産が22百万円増加したものの、建物・構築物が31百万円、のれんが37百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,468百万円となり、前連結会計年度末に比べ225百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,102百万円となり、前連結会計年度末に比べ381百万円増加いたしました。これは主に仕入債務が29百万円、未払金が31百万円減少したものの、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金が138百万円、未成工事受入金が230百万円、賞与引当金が60百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は617百万円となり、前連結会計年度末に比べ277百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が278百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,719百万円となり、前連結会計年度末に比べ104百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は1,749百万円となり、前連結会計年度末に比べ121百万円増加いたしました。これは主に配当金の支払いによる利益剰余金の減少39百万円があったものの、新株予約権の増加22百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加124百万円、新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加12百万円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年12月期の連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2023年2月10日付「2022年12月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2023年11月10日）公表いたしました「2023年12月期連結業績予想の修正及び期末配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,240,739	1,264,201
完成工事未収入金	208,644	236,474
売掛金	48,340	36,575
未成工事支出金等	143,449	306,034
販売用不動産	1,168,059	1,240,410
材料貯蔵品	13,973	14,365
その他	35,935	23,743
貸倒引当金	△283	△210
流動資産合計	2,858,858	3,121,597
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	392,398	360,644
土地	627,924	637,544
建設仮勘定	3,637	—
その他(純額)	37,854	39,745
有形固定資産合計	1,061,815	1,037,934
無形固定資産		
のれん	156,806	119,263
ソフトウェア	15,524	11,817
その他	2,067	2,067
無形固定資産合計	174,398	133,148
投資その他の資産		
投資有価証券	4,265	6,204
繰延税金資産	69,246	91,817
その他	74,531	78,083
投資その他の資産合計	148,043	176,104
固定資産合計	1,384,257	1,347,187
資産合計	4,243,116	4,468,784

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	463,950	436,923
買掛金	25,170	23,134
短期借入金	—	140,000
1年内返済予定の長期借入金	465,759	464,283
未払金	111,986	80,647
未払法人税等	60,924	67,343
未成工事受入金	394,279	624,864
賞与引当金	58,928	119,438
完成工事補償引当金	31,806	39,648
その他	107,394	105,794
流動負債合計	1,720,202	2,102,076
固定負債		
長期借入金	876,083	597,726
その他	19,071	19,911
固定負債合計	895,154	617,637
負債合計	2,615,356	2,719,714
純資産の部		
株主資本		
資本金	256,858	263,080
資本剰余金	246,187	252,409
利益剰余金	1,095,916	1,180,786
自己株式	△28,293	△28,293
株主資本合計	1,570,668	1,667,982
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△340	1,005
その他の包括利益累計額合計	△340	1,005
新株予約権	57,431	80,081
純資産合計	1,627,759	1,749,069
負債純資産合計	4,243,116	4,468,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	4,830,978	5,323,114
売上原価	3,266,230	3,563,705
売上総利益	1,564,748	1,759,408
販売費及び一般管理費	1,527,103	1,545,645
営業利益	37,644	213,763
営業外収益		
受取利息及び配当金	129	109
補助金収入	10,791	588
売電収入	1,605	1,662
その他	1,536	2,730
営業外収益合計	14,062	5,090
営業外費用		
支払利息	4,112	3,284
売電費用	475	768
支払手数料	235	423
その他	1,517	1,536
営業外費用合計	6,340	6,012
経常利益	45,367	212,841
特別利益		
固定資産売却益	155	27
新株予約権戻入益	61	14
特別利益合計	216	41
特別損失		
固定資産売却損	905	—
固定資産除却損	—	1,039
特別損失合計	905	1,039
税金等調整前四半期純利益	44,678	211,843
法人税、住民税及び事業税	43,188	110,792
法人税等調整額	△9,690	△23,163
法人税等合計	33,497	87,629
四半期純利益	11,180	124,214
親会社株主に帰属する四半期純利益	11,180	124,214

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	11,180	124,214
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189	1,346
その他の包括利益合計	189	1,346
四半期包括利益	11,370	125,560
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,370	125,560

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額	合計
	住宅リフォーム 事業	新築住宅事業	不動産流通 事業			
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	3,903,433	455,827	440,887	4,800,148	—	4,800,148
その他の収益	—	—	30,830	30,830	—	30,830
外部顧客への売上高	3,903,433	455,827	471,717	4,830,978	—	4,830,978
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,239	11	—	3,251	△3,251	—
計	3,906,672	455,839	471,717	4,834,229	△3,251	4,830,978
セグメント利益又は 損失(△)	47,934	△23,375	13,085	37,644	—	37,644

(注) 1. 売上高の調整額△3,251千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			計	調整額	合計
	住宅リフォーム 事業	新築住宅事業	不動産流通 事業			
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	4,375,525	294,189	619,851	5,289,566	—	5,289,566
その他の収益	—	—	33,548	33,548	—	33,548
外部顧客への売上高	4,375,525	294,189	653,399	5,323,114	—	5,323,114
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	77	—	77	△77	—
計	4,375,525	294,267	653,399	5,323,192	△77	5,323,114
セグメント利益又は 損失(△)	203,332	△55,242	65,673	213,763	—	213,763

(注) 1. 売上高の調整額△77千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。